２０２７年度　平塚市民病院　（病床数　４１６）【1年次】

受入人数	【1年次】２名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
非常勤	約340,000		約1,000,000		有	無	8:30～17:00 ※救急科は上記に加え 早番7:00～15:30 遅番14:30～23:00	20		有	有	４回程度	有　18,000円/月 『近隣の借り上げ住宅』	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険

※研修手当等は令和７年４月時点です。

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	①内科（腎臓・高血圧）、②内科（糖尿・内分泌）、③消化器内科（消化管疾患、肝疾患、胆道・膵臓疾患、各種進行癌等）、④循環器内科、⑤呼吸器内科、⑥神経内科を4週ずつローテートする。 腎高血圧内科では血液透析、腹膜透析、血漿交換を、消化器内科ではGIF手技ができる目標。循環器内科は心電図、心エコーによる正しい診断と初期治療を目標とする。神経内科では毎朝の脳神経外科との合同カンファ、神経学的診察のスキルチェック、脳波レポート作成、腰椎穿刺の手技の実践も行う。呼吸器内科ではコメディカルとのチーム医療の重要性を築くように心がけている。 【多い症例】 腎臓内科は急性腎不全の管理や血管炎による腎障害の診断治療を主に行っている。糖尿病・内分泌内科では1型、2型糖尿病の血糖管理及び教育目的入院を担し、適切な食事、運動療法に加えインスリンの使用法や経口血糖降下薬の使い方を習得していく。さらに生活習慣病とそれらの合併症の評価及び管理診療を中心に内科医として基本的な技術を身につける。消化器内科はGIF約3,000件、CF約2,300件、ESD約250件、ERCP約400件、肝癌治療約50件など多岐。循環器内科は心カテ治療180件、ペースメーカー手術30件、補助循環装置など多数経験する。神経内科は脳血管障害症例が多いが髄膜炎などの炎症性疾患や自己免疫性脳炎なども多い。呼吸器内科は市中肺炎（誤嚥性肺炎を含む）や間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患、肺癌が中心で、重症例では在宅酸素療法や非侵襲的人工呼吸器を導入することもある。 内科、消化器内科、呼吸器内科　併せて外来患者数　177.5人／日 循環器内科　外来患者数　45.3人／日 脳神経内科　外来患者数　38.6人／日　　指導医数　10名
救急科	救急センターで救急患者の初療を専任の救急医と共に担当する。 指導医　3名 救急搬送患者数　9,000件以上 救急科では救急専門医による「ひらつかER　7-23平日」体制という平日の7時から23時まで救急医が常駐する体制をとっている。 また、平塚市民病院から救急車が出動する「平塚市救急ワークステーション」を実施しており、救急隊員3人と救急車1台を平日の8時30分から17時15分まで病院に常駐させ、救急救命士の病院実習をしながら、救急現場への医師の出動が必要な時は、救急医や研修医が救急隊員とともに救急車に乗り込み出動する。
外科	一般外科 消化器外科、乳腺外科、血管外科を含む。 指導医　6名 全麻手術　985件
小児科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
産婦人科	指導医　2名 (1)妊娠診断法、胎児診断法、新生児診断法、及び診断後の異常を含めたこれらの管理、診療法を経験する。 (2)各種婦人科疾患の診断と治療を経験する。
精神科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
一般外来	・指導医の外来を見学、診療補助を行い、外来診療について学ぶ。 ・指導医のもとで検査や治療のオーダー、患者への説明、関連する医療行為、他科へのコンサルテーション依頼などを行う。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科

内科（腎臓・高血圧、糖尿・内分泌）、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、救急科、一般外科（消化器外科、乳腺外科を含む）、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、放射線科

○研修アピール

臨床医にとって必須な初期診療を含む基本的診療の知識，技能を習得するとともに、医師としてのふさわしい態度と責任感を養うことを目的に『一人一人を丁寧に育てる』というコンセプトで研修を行っている。

本プログラムの特徴は、臨床研修医の個性や希望に応じた、きめ細やかでフレキシブルなローテーションスケジュールにある。救急医療の現場の中でその場で指導を受けることができることによって多くの経験が得られるとの研修医の声が多い。

○研修医からのメッセージ

優しく教育熱心な先生方のご指導の下、日々充実した研修を行っています。Common Diseaseを中心にどのように診療していくか、教科書ではわからないことも含め指導医の先生に教わりながら学ぶことができます。また、手技を行う機会も多くあり、アドバイスをいただきながら経験を積むことができます。医局では診療科を問わず多くの先生方と関わることができ，コ・メディカルの方々も優しく、とても働きやすい研修環境だと思います。

研修実施責任者　　診療部長兼臨床研修指導室長　屋代　英樹

※問い合わせ先

担当部署・担当者名：　病院総務課　小林

住所：　神奈川県平塚市南原１－１９－１

TEL：　０４６３－３２－００１５

E-mail：　byoin-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項

・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。

・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

２０２７年度　平塚市民病院(病床数　４１６）【２年次】

受入人数	【2年次】２名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
非常勤		約360,000		約1,600,000	有	無	8:30～17:00 ※救急科は上記に加え 早番7:00～15:30 遅番14:30～23:00		20	有	有	４回程度	有　18,000円/月 『近隣の借り上げ住宅』	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険

※研修手当等は令和７年４月時点です。

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
地域研修（在宅を含む）	一次医療、在宅医療等の地域医療についての研修を行う。
一般外来	・指導医の外来を見学、診療補助を行い、外来診療について学ぶ。 ・指導医のもとで検査や治療のオーダー、患者への説明、関連する医療行為、他科へのコンサルテーション依頼などを行う。
外科	一般外科 消化器外科、乳腺外科、血管外科を含む。 指導医　6名 全麻手術　985件
小児科	指導医　1名 (1)小児科カンファレンスに出席する。 (2)院内CPCに出席する。 (3)その他院内外の学術集会に出席する。 (4)産婦人科との合同カンファレンスに参加する。 (5)他院とのインターネットカンファレンスに出席する。
産婦人科	指導医　2名 (1)妊娠診断法、胎児診断法、新生児診断法、及び診断後の異常を含めたこれらの管理、診療法を経験する。 (2)各種婦人科疾患の診断と治療を経験する。
精神科	指導医　2名 研修は協力施設の研水会平塚病院にて実習を行う。
麻酔科	指導医　2名 (1)4週間の間にできるだけの麻酔症例を経験する。 (2)各症例とも導入，覚醒に関しては、麻酔科標榜医の立ち会いを原則とする。 (3)基本的な換気、挿管ができるようにする。

○ 研修のアピール

臨床医にとって必須な初期診療を含む基本的診療の知識，技能を習得するとともに、医師としてのふさわしい態度と責任感を養うことを目的に『一人一人を丁寧に育てる』というコンセプトで研修を行っている。
本プログラムの特徴は、臨床研修医の個性や希望に応じた、きめ細やかでフレキシブルなローテーションスケジュールにある。救急医療の現場の中でその場で指導を受けることができることによって多くの経験が得られるとの研修医の声が多い。
具体的には、救急搬送される患者さんの「診察（身体所見）→検査→診断→治療方針の決定」というプロセスを繰り返し行うことで、ERにおいて必要とされる診察手技を学ぶことができる。
研修医の成長度は個人の能力によって異なるが、１年間で上記プロセスの理解、達成、簡単な手技（点滴、尿道バルーン留置、胃管挿入など）が単独で試行可能となることを目指している。
本プログラム以外の教育では、年間を通じて毎週木曜日の夕方、臨床研修医を主な対象とした教育プログラムを実施し，スキルアップする機会を多く設けている。
臨床研修医は臨床研修指導室に所属し、各人にマンツーマンで通年の担当指導医を決め研修のアドバイスや評価を行っており、人数は1学年１１人で適切な人数となっているためきめ細かなケアを行うことが可能である。
研修環境としては、敷地内官舎又は近隣の借り上げ住宅を確保しており、臨床研修医が研修に集中できる環境作りを行っている。

○ 選択科目について（選択できる診療科）

内科（腎臓・高血圧、糖尿・内分泌）		消化器内科	循環器内科	脳神経内科
呼吸器内科	救急科	一般外科 （消化器外科、乳腺外科、血管外科を含む）		呼吸器外科
心臓血管外科	脳神経外科	麻酔科	小児科	産婦人科
精神科	泌尿器科	皮膚科	整形外科	形成外科
眼科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	放射線科	緩和ケア内科	地域医療
備考				

研修実施責任者　診療部長兼臨床研修指導室長　屋代　英樹

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：　病院総務課　　小林

住所：　〒254-0065　神奈川県平塚市南原１－１９－１

TEL：　0463－32－0015

※地域研修の施設は、記載されている協力型病院の施設に限られます。

E-mail：byoin-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp